

「自己評価」公表資料

平成28年度努力事項に対する実践の評価(教職員による自己評価:4段階評価)

学校教育目標「ふるさとを愛し、夢に向かって挑戦しながら互いに認め、支え、高め合う子どもの育成」

努力事項	重点実践事項	項目別	総合
学習の基盤	○3点固定運動の定着(全学年)	2.8	2.9
	○規範意識と誠実さの育成(低学年)	2.8	
	○教育相談、心のアンケート等の充実(中・高学年)	3.1	
	○社会性構築(あいさつ、礼儀、言葉遣い、思いやり等の育成)(全学年)	3.1	
	全学年で社会性構築(挨拶や礼儀等)の項目は3.0以上となった。とくに高学年は高い評価であった。課題として、3点固定運動の定着と低学年における規範意識と誠実さの育成については、課題が残った。		
確かな学力	○45分間厳守の授業実践と学習規律の確立(全学年)	3.2	3.3
	○言語活動充実、活用力を意識した授業実践(全学年)	3.4	
	○自主学习や家庭学習能力の育成(低・中学年)	3.0	
	○熊本型授業の工夫改善(めあてと振り返り)(高学年)	3.4	
	学習規律や言語活動の充実等については、かなり高い評価となった。また、熊本型授業の工夫改善についても、校内研修の充実によって、授業改革を進めることができた。しかし、小中一貫・連携教育の「学習のきまり」「家庭学習の手引き」等の利用については、わくわくホームワークなどを通して、家庭学習のさらなる充実を図りたい。		
豊かな心	○自己有用感をもつ集団づくり(充実した相談活動)(全学年)	3.1	3.3
	○道徳的実践力の育成(全学年)	3.0	
	○いじめ、不登校問題等への確実な複数対応の実践(低・中学年)	3.5	
	○人権同和学習の授業実践や日常的活動の充実	3.4	
	保護者、関係機関、担任、特別支援コーディネーターらと行うケース会議を頻繁に行い、不登校の未然防止やいじめ問題の早期発見、早期対応に取り組むことができた。今後も関係機関との連携を進め、課題解決にあたりたい。		
健やかな体	○教科体育の充実(運動量と安全の確保)(低・高学年)	3.3	3.1
	○豊かな食指導の推進と給食指導の充実(1, 2年)	3.2	
	○運動や遊びの機会の確保(低・中年)	3.2	
	○スポーツテスト等の結果の活用(高学年)	2.5	
	○健康的な生活習慣の定着(全学年)	2.5	
教科体育の充実や食育、外遊びの奨励等、体力向上に係る取り組みは全体的に良好な状態であったが、高学年のスポーツテスト結果の活用や健康的な生活習慣の育成には家庭・地域の協力が不可欠であり、今後も推進したい。			
潤いある環境	○一人一人を大切に教室設営(学習まとめの掲示、作品への朱書)(全学年)	3.3	3.2
	○生活環境の整理整頓(全学年)	3.0	
	○黙々と掃除や作業に臨む誠実さの育成(全学年)	3.2	
各項目とも3.0以上となった。教室設営をはじめ、廊下等を含めた掲示の工夫については各所で見られている。整理整頓については靴箱の揃え方など全学年で向上しているが、まだトレイのスリッパや教室内整理等徹底できていない部分もある。掃除については、協力して時間いっぱい取り組む児童が増えているので取り掛かりなどを早くできるように促していきたい。			